

新型インフルエンザ対策関係補正予算案(平成17年度)

○抗インフルエンザウイルス薬備蓄

(162億円)

抗インフルエンザウイルス薬(※)を十分に確保し、充実した医療の提供を図るための経費

※リン酸オセルタミビル(商品名:タミフル) 750万人分

(うち7.2万人分については当初予算で備蓄済み)

○新型インフルエンザワクチン供給体制確保事業等補助

(77億円)

医療従事者・社会機能維持に必要な者に緊急に使用できるよう、プロトタイプワクチン(※)原液の製造のために必要な体制を確保するための経費補助

※「新型インフルエンザ対策行動計画」(平成17年12月)では、ヒト-ヒト感染は確認されていない段階において、トリ-ヒト感染を起こすウイルスを用いたワクチン(プロトタイプワクチン)の原液の製造、貯留を開始することとしている。さらに、ヒト-ヒト感染が早期に発生した場合には、確保した鶏卵をパンデミックワクチンの生産に転用する。

○新型インフルエンザ診断キット開発研究事業

(1億円)

新型インフルエンザの発生国において、病原の検索等を行い、新型インフルエンザ診断キットの開発研究を実施するための経費

平成18年度新型インフルエンザ対策関係予算案の概要

総額 9,201百万円

1 万全の対応に向けた体制づくり 2,648百万円

【主な対策】

- 危機管理のための人材育成
- 新興・再興感染症研究における新型インフルエンザ対策の推進
- 新型インフルエンザ対策の啓発普及

2 的確な予防と封じ込め 4,370百万円

【主な対策】

- 感染症の発生動向調査
- ウイルスの生態解明・ゲノム解析・データベース化
- 検疫体制の強化
- ワクチン株製造施設の新設
- ワクチン製造用ウイルス株の候補株の調製

3 充実した医療の提供 1,595百万円

【主な対策】

- 抗インフルエンザウイルス薬の備蓄

4 国際協力の推進 588百万円

【主な対策】

- 開発途上国における対策支援